ほけんだより

No5

2026年6月16日

五福小学校 保健室

6月17日（水）耳鼻科検診です。保健室で14：00からはじまります。

校医の先生は、水前寺耳鼻咽喉科の宇野　研吾先生です。みなさんが、病気になっていないか、元気に学校生活を送れるかをみていただきます。病院の診察などでお忙しいところをみなさんのために来ていただきます。感謝の気持ちをこめて、あいさつやお礼を言いましょう。

1　検査の前にしておくこと

保護者のみなさまへ

欠席等で検診を受けられなかった場合は、保護者同伴のうえ水前寺耳鼻咽喉科で、検診を受けて頂くことになりますことをご了承ください。

2　受ける人と順番　1.3.5年生は全員

※2.4.6年生は4月に提出してもらった保健調査表の耳鼻のどの症状に〇がついている人

めあすの時刻（14:00~）　（14:04~）　（14:11~）

あおぞら学級　受ける人（１１人）→１－１全員　→２－１受ける人（４人）→２－２受ける人（５人）

（14:15~）　（14:21~）　（14:27~）　（14:30~）

→３－１全員　→３－２全員　→４－１受ける人（9人）　→４－２受ける人（５人）

（14:33~）　（14:40~）　（14:47~）　14:50 終了予定

→５－１全員　→５－２全員　→　６－１　受ける人（９人）

髪が長い人は髪をむすんだり、髪を耳にかけたりして、耳を出しましょう。

＊名簿順にならんで受けます。

＊お医者さんは一人で1時間かけて140人の鼻と耳とのどをみられます。

はやくおわるように、ひとりひとりがこころがけましょう。

3　耳鼻科検診ではお医者さんは、どんなことをするのでしょう？

① 自分の名まえをいう。（声の出方をみられます）

めがねや
マスクは、
はずしましょう。

② 右耳　→左耳　　→鼻　　→のどの順にみてもらう。

（左をむく）　（右をむく）　（前をむく）　　（口を大きくあける）

いたくないので、あんしんしてください！

4　耳鼻科検診では、どんなことに気をつければよいでしょう？

（1）からだのようすを担任の先生がお医者さんに伝えたり、お医者さんが病名を言ったりされます。みなさんがおしゃべりをすると、その声がよく聞こえずにこまるので、しずかに待っておきましょう。

（2）前の人がお医者さんにみてもらっている時に、のぞきこんだり、結果を見たりしないようお互いに気をつけましょう。

足型をおいておきますので、前の人や後の人とはなれてならんでまちましょう。

5　耳鼻科検診ではどんなことがわかるのでしょうか？

耳垢栓塞（耳あか）・・・耳あかがかたくなっているので耳鼻咽喉科でとってもらいましょう。このまま水泳をすると耳が痛くなることがあります。

鼻炎・・・鼻の中が赤くはれて、鼻水・鼻づまり・くしゃみなどがおこります。

アレルギー性鼻炎・・・家のほこり（ダニ）や花粉や動物の毛などの原因でおこります。

副鼻腔炎・・・鼻の中には小さな部屋がたくさんあり、赤くはれて膿がたまると頭痛がひどくなったり、集中力がなくなったりします。

中耳炎・・・耳の中が赤くはれて、痛くなり耳だれが出てきこえがわるくなります。

滲出性中耳炎・・・耳の中に水がたまり耳のきこえがわるくなります。痛くないので、気づかないうちに悪くなります。

扁桃炎・・・のどが赤くはれて痛くなり、熱が出ます。

病院でみてもらった方がいい人は、プリントで知らせます。はやめに病院でみてもらいましょう。